



# SGE 五木東

平成28年11月18日(金) 学校便り



ついに、東小の児童が、海外デビューを果たしました。11月16日(水)に3年生13人がパソコンで「Skype」というソフトを使い、アメリカのハワイ州にあるカイミロア小学校3年生との交流を行いました。これは、夏から高木教諭を中心に準備を進めてきた海外姉妹校連携事業 (Sister School Project) によるものです。本年度から取り組んでいるグローバルな人材を育成するSGE (Super Global Elementary school) 構想の取組の一つです。

最初に、児童一人一人が、いままで学習したことを使って自己紹介しました。「Hello」「Good morning」「My name is ○○」「I like star」「I like pink」「See you」「Bye」物怖じしないで生き生きと話す姿には、周りで見っていた教職員もびっくりしました。次に、カイミロア小学校の3年生が、それぞれ自己紹介をしました。パソコン画面に相手の顔が大写しになり、英語で自分の好きな動物や食べ物などを話してくれました。本校の子供たちは大喜びです。

児童の感想を一部紹介します。

- 「カイミロア小学校と交流して、言葉は通じなくても心は通じ合えるんだと思いました。わけはいろいろ返してくれたからです。」
- 「英語を覚えるのはやっとのことなのに、カイミロア小学校の人たちは、あいさつを日本語で言えていました。私も追い越されないように、早く英語を全部覚えたいです。」

全部の言葉を聞き取ることができなくても、心が通じ合えた3年生でした。大切なのは、相手に伝えよう、相手が何を言っているのか分かろうとする態度であることを学んだと思います。ハワイの子供たちとの交流を通して、英語活動に向かう意欲の種を児童の心に蒔くことができました。

これからは、他の学年も交流を開始します。その中で、五木東小や五木村の紹介をしていきます。「ふるさとのよさを大切に、地球規模で物事を捉え行動する東っ子」に、どうぞ御期待ください。